

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成29年9月12日

【四半期会計期間】 第17期第3四半期(自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日)

【会社名】 ベルグアース株式会社

【英訳名】 Berg Earth co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山口 一彦

【本店の所在の場所】 愛媛県宇和島市津島町北灘甲88番地1

【電話番号】 0895-20-8231(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部管掌 薬師寺 朝徳

【最寄りの連絡場所】 愛媛県宇和島市津島町北灘甲88番地1

【電話番号】 0895-20-8231(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部管掌 薬師寺 朝徳

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第3四半期連結 累計期間	第17期 第3四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日	自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日	自 平成27年11月1日 至 平成28年10月31日
売上高 (千円)	2,892,241	3,020,588	4,395,944
経常損失() (千円)	200,494	160,585	91,604
親会社株主に帰属する 四半期純損失()又は 親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	64,809	124,671	13,981
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	9,193	132,122	58,732
純資産額 (千円)	1,347,923	1,271,139	1,415,959
総資産額 (千円)	3,973,858	3,728,979	3,727,160
1株当たり四半期純損失金額() 又は1株当たり当期純利益金額 (円)	51.04	98.19	1,115.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			11.01
自己資本比率 (%)	28.5	28.9	32.5

回次	第16期 第3四半期連結 会計期間	第17期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日	自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	18.61	3.64

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容は、以下のとおりであります。

なお、主要な関係会社については異動はありません。

(野菜苗生産販売事業)

主な事業内容の変更はありません。

(流通事業)

主な事業内容の変更はありません。

(海外事業)

主な事業内容の変更はありません。

(その他)

当社において、当第3四半期連結会計期間より新たに貸し農園事業を開始しました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の売上高は3,020,588千円と前年同四半期と比べ128,346千円(4.4%)の増収となりました。損益面につきましては、営業損失170,586千円(前年同四半期は営業損失207,827千円)、経常損失160,585千円(前年同四半期は経常損失200,494千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は124,671千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失64,809千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

野菜苗生産販売事業

当事業部門におきましては、閑散期の受注拡大のために取組んできました関東向けのピーマン、メロン苗やホームセンター向けの玉ねぎ苗の増加、春から夏にかけて九州向けのトマト苗等が好調に推移した結果、売上高は2,804,913千円と前年同四半期と比べ126,090千円(4.7%)の増収となりました。損益面につきましては、本格稼働したベルグ福島農場の生産能力が拡大したことにより生産効率が改善した結果、セグメント利益(営業利益)は152,003千円と前年同四半期と比べ58,316千円(62.2%)の増益となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
トマト苗	1,033,162	104.4
キュウリ苗	824,892	104.7
ナス苗	310,647	98.5
スイカ苗	246,448	106.3
メロン苗	180,344	109.0
ピーマン類苗(注)	103,532	118.2
その他	105,885	104.9
合計	2,804,913	104.7

(注) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗(7.5cm～15cm)	1,544,206	102.7
当社オリジナル(アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ等)	795,003	109.4
セル苗(288穴～72穴)	440,955	101.2
その他	24,748	177.9
合 計	2,804,913	104.7

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット(ポリ鉢)で育苗した一般的な苗であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器(セルトレー)で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	521,357	104.3
関東	959,529	107.0
中部・甲信越・北陸	452,368	92.8
近畿・中国	441,087	105.2
四国	176,798	107.5
九州・沖縄	253,772	120.4
合 計	2,804,913	104.7

流通事業

コンビニエンスストア部門の売上高は117,668千円(前年同四半期比6.5%増)、資材部門の売上高は53,830千円(前年同四半期比10.8%減)、農産物部門の売上高は27,668千円(前年同四半期4.5%増)となり、流通事業全体の業績は、売上高199,168千円(前年同四半期と比べ1,896千円(1.0%)の増収)、セグメント損失(営業損失)8,886千円(前年同四半期はセグメント損失13,071千円)となりました。

海外事業

当事業部門におきましては、中国山東省にて野菜苗及び花苗の生産、鉢花(シクラメン)の生産、トマト等の青果物の生産を中心とした施設園芸、生産技術開発の為に試験等を行っております。また、当連結会計年度より海外事業部門を新設し、海外での事業拡大に向けて技術開発並びに中国国内を中心に農業関連マーケット調査や市場開拓等を積極的に行っております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高16,187千円(前年同四半期比0.3%増)、セグメント損失(営業損失)47,282千円(前年同四半期はセグメント損失11,080千円)となりました。

その他事業

当第3四半期連結会計期間において、貸し農園事業を開始しており、売上高は319千円、セグメント損失(営業損失)は4,179千円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1,819千円(0.0%)増加の3,728,979千円となりました。これは、現金及び預金の増加92,036千円、受取手形及び売掛金の減少275,294千円、仕掛品の増加210,088千円、有形固定資産の減少62,502千円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ146,639千円(6.3%)増加の2,457,840千円となりました。これは、短期借入金の増加200,000千円、長期借入金の減少88,064千円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ144,820千円(10.2%)減少の1,271,139千円となりました。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額は49,919千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,500,000
計	3,500,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年7月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年9月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,269,900	1,269,900	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	1,269,900	1,269,900		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年5月1日～ 平成29年7月31日		1,269,900		331,494		241,494

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,268,200	12,682	
単元未満株式	普通株式 1,600		
発行済株式総数	1,269,900		
総株主の議決権		12,682	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年4月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成29年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ペルグアース株式会社	愛媛県宇和島市 津島町北灘甲88番地1	100		100	0.0
計		100		100	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年5月1日から平成29年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年11月1日から平成29年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,106	522,142
受取手形及び売掛金	955,791	680,497
商品及び製品	10,047	8,170
仕掛品	73,010	283,098
原材料及び貯蔵品	95,511	132,504
その他	99,351	111,526
貸倒引当金	1,008	1,091
流動資産合計	1,662,808	1,736,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,138,381	1,048,120
機械及び装置（純額）	264,865	249,910
土地	479,224	481,683
その他（純額）	16,722	56,976
有形固定資産合計	1,899,193	1,836,691
無形固定資産	36,459	36,091
投資その他の資産	128,698	119,348
固定資産合計	2,064,351	1,992,131
資産合計	3,727,160	3,728,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	506,663	525,501
短期借入金	1 400,000	1 600,000
1年内返済予定の長期借入金	244,830	239,986
未払金	124,478	173,567
未払法人税等	4,232	7,242
賞与引当金	41,840	25,099
その他	59,688	54,345
流動負債合計	1,381,732	1,625,741
固定負債		
長期借入金	750,672	662,608
資産除去債務	71,397	72,070
その他	107,397	97,420
固定負債合計	929,467	832,098
負債合計	2,311,200	2,457,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,494	331,494
資本剰余金	241,494	241,494
利益剰余金	640,256	502,887
自己株式	204	204
株主資本合計	1,213,040	1,075,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	1,954
為替換算調整勘定	1,185	1,442
その他の包括利益累計額合計	1,004	511
新株予約権	554	554
非支配株主持分	203,370	194,402
純資産合計	1,415,959	1,271,139
負債純資産合計	3,727,160	3,728,979

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	2,892,241	3,020,588
売上原価	2,297,382	2,347,873
売上総利益	594,858	672,714
販売費及び一般管理費	802,685	843,301
営業損失()	207,827	170,586
営業外収益		
受取利息	59	17
受取配当金	769	630
受取手数料	2,472	2,203
補助金収入	11,009	14,203
その他	3,532	2,540
営業外収益合計	17,844	19,596
営業外費用		
支払利息	4,242	3,500
持分法による投資損失	6,250	5,683
その他	19	411
営業外費用合計	10,511	9,595
経常損失()	200,494	160,585
特別利益		
補助金収入	243,500	-
特別利益合計	243,500	-
特別損失		
有形固定資産除却損	-	3,018
投資有価証券評価損	-	14,057
その他	-	280
特別損失合計	-	17,356
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	43,005	177,942
法人税、住民税及び事業税	1,536	1,805
法人税等調整額	44,335	45,719
法人税等合計	45,871	43,913
四半期純損失()	2,865	134,028
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	61,943	9,357
親会社株主に帰属する四半期純損失()	64,809	124,671

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
四半期純損失()	2,865	134,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,348	1,773
為替換算調整勘定	1,979	132
その他の包括利益合計	6,327	1,906
四半期包括利益	9,193	132,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,137	122,765
非支配株主に係る四半期包括利益	61,943	9,357

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。当第3四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入金の未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
当座貸越極度額の総額	700,000千円	700,000千円
借入実行残高	400,000千円	600,000千円
差引額	300,000千円	100,000千円

- 2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入金に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
ファンガーデン株式会社	46,000千円	61,500千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
減価償却費	157,638千円	146,654千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年1月28日 定時株主総会	普通株式	12,697	10.00	平成27年10月31日	平成28年1月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年1月30日 定時株主総会	普通株式	12,697	10.00	平成28年10月31日	平成29年1月31日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	野菜苗生産 販売事業	流通事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,678,822	197,271	16,146	2,892,241	-	2,892,241
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,686	7,938	3,569	15,194	15,194	-
計	2,682,509	205,210	19,715	2,907,435	15,194	2,892,241
セグメント利益又は損失()	93,687	13,071	11,080	69,535	277,362	207,827

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額 277,362千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	野菜苗生産 販売事業	流通事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,804,913	199,168	16,187	3,020,268	319	3,020,588	-	3,020,588
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	2,987	2,987	-	2,987	2,987	-
計	2,804,913	199,168	19,174	3,023,256	319	3,023,575	2,987	3,020,588
セグメント利益又は 損失()	152,003	8,886	47,282	95,833	4,179	91,654	262,240	170,586

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当第3四半期連結会計年度より開始した貸し農園事業であります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 262,240千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
1株当たり四半期純損失金額()	51円04銭	98円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	64,809	124,671
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額()(千円)	64,809	124,671
普通株式の期中平均株式数(株)	1,269,756	1,269,756

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(子会社等の設立)

当社は、平成29年7月31日開催の取締役会において、株式会社むさしのタネを設立することを決議し、平成29年8月9日に下記の通り設立いたしました。

(1) 設立の目的

自社品種の育種及び販売、品種改良及び開発をおこない既存事業を含め当社グループ全体の相乗効果が期待できる育種事業に取り組むため、株式会社むさしのタネを設立することといたしました。

(2) 子会社等の概要

名称 株式会社 むさしのタネ
 所在地 千葉県旭市鎌数1025番地2
 代表者 代表取締役 山口 一彦
 事業内容 種子の育種及び販売、研究開発
 資本金 10,000千円
 設立年月日 平成29年8月9日
 出資比率 ベルグアース株式会社 100%

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年9月12日

ベルグアース株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川合 弘泰 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千原 徹也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているベルグアース株式会社の平成28年11月1日から平成29年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年5月1日から平成29年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年11月1日から平成29年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ベルグアース株式会社及び連結子会社の平成29年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。